

数学特別講義A
 数学総合講義C
 応用数理特殊講義F III

藤田 博司 講師
 (愛媛大学)

談話会

6月23日(月) 16:00~
 選択公理を弱めた世界での関数解析

選択公理ACを従属選択公理DCに弱めた集合論においてはハーン・バナッハの定理が証明できないので、数列空間 ℓ^1 が回帰的であるとしても矛盾が起きない。この結果と、関連する話題をお伝えする。

講義
 期間
 ・
 題目
 ・
 内容

6月24日(火)~6月27日(金)
 各日 15:00~18:00
 記述集合論の概要

記述集合論の基本を学ぶ。記述集合論は実数の集合、あるいは可分完備距離空間の部分集合のうち、明確な定義を持ちうるものについての研究であり、ボレル集合、解析集合、射影集合などが主な研究対象となる。現代では記述集合論は強制法・巨大基数理論・内部モデル理論などの集合論の他の分野との関連で活発に研究されているが、本講義ではその基礎となる解析集合とボレル集合の理論を中心に論じる。この講義を履修し学習することで、集合論のさらに進んだトピックを学ぶ準備ができることになる。

備考

談話会・講義は対面で実施します。